

令和7年度事業報告書

はじめに

公益財団法人おおいた共創基金は、平成25年の設立以来、行政、企業等が対応しきれない分野の地域課題の解決に取り組むNPO等の活動を支援しています。

コロナ禍を経て経済活動の正常化が進む中、在宅勤務や地方移住などライフスタイルにも変化が起きています。その一方で、コロナ禍前から深刻な状態にあった少子高齢化・人口減少社会の進展や頻発・激甚化する自然災害や佐賀関の大規模火災など、これまで以上に様々な課題の発生が予想されたため、関係機関と一層の連携を図りながら、NPO等への支援を継続してまいりました。

1 県民全体で公益活動を支える意識の醸成

(1) 募金活動

① 賛助会員等からの寄付金

ア 前年度の企業・団体賛助会員（62会員）へ訪問又は書面で継続依頼

55会員が継続加入、7会員が継続不可。

イ 企業・団体訪問による新規・復活の企業・団体賛助会員の獲得

企業・団体訪問により、非営利団体1団体が新規の申し込み。

ウ 個人賛助会員の獲得

賛助会員加入の勧誘のため、関係機関へお願い文書の送付を行った。

<実績> 企業・団体賛助会員：56会員、寄付金額：915,000円

個人賛助会員：1人、寄付金額：3,000円

② 募金箱による募金

ア 店舗設置の募金箱

※ 設置個所：75か所、募金箱の募金総額：943,562円

イ イベント等設置の募金箱

※ 設置回数：1回、募金総額：2,466円

③ 寄付金付き自動販売機

ア 大分航空ターミナル（株）から寄付金（93,496円）を、令和7年4月22日にホテルニューツルタにおいて受領した。

イ その他の自動販売機（6,402円）は、自販機設置業者から随時口座振込された。

※ 寄付金総額：99,898円

(2) 広報活動

- ① ホームページへの随時投稿及び更新を行うとともに、フェイスブック、Instagramにも投稿した。また、めじろんNEWS (NO. 33~35) を発行した。
- ② めじろんグッズ(ジャンバー、ティッシュ、のぼり旗等)の配布、貸与を行った。

2 資金的活動基盤強化事業

(1) O A機器助成事業

平成27年度から大分県内で地域貢献活動に取り組むNPO等に対し、活動に必要なOA機器を寄贈している。

22団体から応募があり、申請内容(OA機器の必要度等)及びNPO活動の実績等を審査し、「めじろんフォーラム2026」において、15団体にOA機器を贈呈した。

- ・ノートパソコン：12団体
- ・プリンター：1団体
- ・プロジェクター：1団体
- ・シュレッダー：1団体

※総額：1,738,330円

(2) NPO寄付金集め支援事業

県内NPO等が自ら寄付金集めのノウハウを身につけることにより、財政基盤の強化を図ることで、地域課題解決のための継続的な活動ができるよう支援を行うもの。

平成28年度から実施しており、令和7年度は1団体を採択した。

- ・NPO法人 Beautiful World 100,000円

(3) ふるさと創生NPO連携促進事業

NPO法人、法人格のないボランティア団体、市民活動団体及び地域コミュニティ団体(以下「NPO団体」という。)が、他のNPO団体や企業等の多様な主体と協働して行う地域活性化や地域の課題解決などの「ふるさと創生を推進する取組」を支援することにより、NPO団体同士や多様な主体との連携促進、NPO団体の育成及び県民全体で支える地域社会の創生を目指すもの。本年度は3グループ(協働体)の事業に対して、それぞれ補助金100万円を交付し、伴走支援を行った。

また、当該事業に応募したNPO団体の事業計画作成等の支援を行った中間支援団体に対して、当該経費として93,300円を助成した。

主 担 当	採択団体(構成団体)	事 業 名	事業費 (千円)	補助金額 (千円)
	団 体 名 (代表者名)			
◎	NPO法人 福祉コミュニティKOUZAKI (稲生 亨)	・事業名: 神崎における多文化共生社会の実現 ・目 的: 豊かで持続可能な多文化共生社会の実現を目指す ・概 要: ①外国人技能実習生対象へのアンケートの実施 ②外国人技能実習生と県内留学生との交流拠点づくり ③外国人技能実習生向けの視察ツアー及び研修会の実施 ④外国人技能実習生による休耕地での有効活用と地域との交流	1,229	1,000
	南日本造船協力事業協同組合			
	大分大学経済学部 三好禎之ゼミ			
	株式会社 旭商			
中間 支援	NPO法人 おおいたNPOデザインセンター			
◎	NPO法人 子育て応援ワクピース (漆間 文代)	・事業名: 食を通じて多世代で支え合う循環型の地域づくり ・目 的: 赤ちゃんから高齢者までの多世代が関わり合い、支え合い暮らししていくため、 地域の生活弱者を一人も取り残さないための循環型の地域づくりを目指す ・概 要: ①生きづらさを地域で支え合う地域コミュニティカフェの開催 (近所の方が集まり、食事や茶話会などをして悩みごとの解消) ②地域でのフードドライブ・地域でフードパントリー (家庭や企業の余剰品を集め、食材や生活用品の備蓄と配付。災害倉庫) ③地域みんなの食堂の開設 (定期的な食事支援として、誰もが食事できる地域食堂の開設)	1,110	1,000
	一般社団法人 ライフカドル協会			
	一般社団法人 わくわくスマイル			
	株式会社 Linewood			
中間 支援	NPO法人 おおいたNPOデザインセンター			
◎	特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会 (杉浦 嘉雄)	・事業名: 国東市安岐町に流れる小河川“荒木川流域”における“持続可能な地域づくり” 創造のための連携支援事業 ・目 的: 国東市安岐町に流れる“荒木川流域”の環境保全及び普及・福祉活動による “持続可能な地域づくり(ローカルSDGs)”先進地を地元組織と積極的に連携・ 協働して創造する ・概 要: ①アリースペース(旧老人福祉施設)の新たな整備と環境教材の整備と活用 ②アリースペースを活用した環境書籍・教材の補充と活用 ③荒木川沿いの緑地を活用した整備と環境福祉活動 ④その他の環境保全、社会教育活動などへの支援事業	1,005	1,000
	社会福祉法人共生荘 障がい者サポートセンター 三角ベース			
	荒木川流域プロジェクト実行委員会			
中間 支援	NPO法人 おおいたNPOデザインセンター			

(4) 休眠預金活用事業

令和7年10月に「孤育てママの声を聴き、ともに支えるママの応援隊事業」で2025年度通常枠(第2回)の資金分配団体に応募したが、令和8年2月に不採択の通知があった。また、令和7年12月1日に JANPIA(一般財団法人日本民間公益活動連携機構)が大分県庁で開催した「休眠預金等活用制度説明会」(県内のNPO9団体など計36人が参加)に協力した。

(5) 冠助成事業

社会貢献活動(CSR)に関心の深い企業による「〇周年記念行事」等、企業名や商品名などを冠した助成事業についての申請はなかった。

(6) 第三者認証制度取得支援事業

NPO等の信頼性向上と支援者保護を目的とした「グッドギビングマーク」の認証を令和7年10月2日に受けた。また、同マーク取得を支援するための制度説明会をオンライン開催したが、NPO等に申請を目指す動きはなかった。

3 運営的活動基盤強化事業

(1) NPOセンター事業

①相談業務

NPO団体の運営、運営アドバイザー派遣、助成金情報や「おんぼ」での情報発信、各種講座等について相談を受けた。

・相談件数等

開館日数	242 日／年
来館者総数	183 人／年
電話対応件数	83 件／年
年間相談件数	191 件／年
相談内訳（来訪：29 電話：55 メール：107）	

・相談内容内訳

助成金	8 件	4.2%
広報	0 件	0.0%
会計・税務	0 件	0.0%
団体設立	5 件	2.6%
団体運営	4 件	2.1%
提出書類	5 件	2.6%
おんぼ登録等	1 件	0.5%
情報提供依頼	44 件	23.0%
企業CSR	0 件	0.0%
運営アドバイザー関係	56 件	29.3%
講座・セミナー関係	42 件	22.0%
フリースペース利用	0 件	0.0%
印刷機利用	1 件	0.5%
機材・書籍貸出	0 件	0.0%
その他	25 件	13.1%
合計	191 件	100%

②運営アドバイザー派遣

年度当初に、財務会計や人事労務、税務、経営戦略などの分野、15名の派遣アドバイザーを委嘱し、NPO団体のニーズに応じて、年間51件の派遣を行った。

③スキルアップ講座

各種講座を5回開催し、Zoomの同時配信も行った。うち、4回は会場よりオンラインでの参加者の方が多く、精度の高い配信が欠かせないものとなっている。

- ・初めてのホームページ作成講座（入門編） 7/24（木）講師：新名康行氏
- ・初めてのホームページ作成講座（初級編） 8/26（火）講師：新名康行氏
- ・Adobe エクスプレスを使ってチラシ作成講座 9/17（水）講師：森海里氏
- ・クラウドファンディング講座 1/30（金）講師：長谷川拓海氏
- ・団体運営とヒトのはなし 2/18（水）講師：谷川真奈美氏

④情報の提供・発信

- ・メルマガ「週イチ君」等でNPOに関する役に立つ新しい情報を配信した。また、（公財）大分県産業創造機構の「創造おおいた9月号」と大分商工会議所所報「Yell 11・12月号」と「2月号」で、NPOと企業との協働の好事例を発信した。

⑤NPO×行政交流会

- ・大分県が12/2（火）に開催した交流会に、職員4名が参加した。

⑥チャレンジセミナー 3/12（水）

「国東市の新たな価値創造に向けて～六郷満山・アート・宇宙港をキーワードにしたまちづくりとNPOの役割～」 講師：松井督治氏（国東市長）

（2）NPO団体へのアンケート調査

大分大学と連携して、「令和7年度大分県NPO団体等の現状把握に関する調査」を実施した。本年度は大分県内のNPO団体の現状把握を行うとともに、近年課題となっている連携・協働についての調査に加え、NPOとともに地域課題の解決を目指しているRCC（ロータリー地域社会共同体）の認知度、連携・協働の実態やニーズについて詳しく調査を行った。

今後のNPO団体への支援を検討するための資料とする。

（3）企業とNPOの協働推進セミナー2025

企業、行政等の社会貢献活動に対する意識を高めるとともに、NPO団体、企業、

行政等が地域社会の課題を共有し、それぞれの強みや特性を活かした協働の推進を図ることを目的に、「多様な主体との協働の推進をめざして」をテーマに開催した。セミナーを通じ、ボランティア活動や企業とNPOの協働の理解が深まり、組織の垣根を超えた連携への意識が高まった。

- ・日 時 令和7年11月13日（木） 13：30～
- ・会 場 大分県消費生活・男女共同参画プラザ2階大会議室
- ・参加者 42名（うちZOOM参加16）〔NPO15、企業3、行政16、一般8〕
- ・内 容 ①講演
 - ・演題：異質なものをつなげる力
～能登における協働コーディネートのリアル～
 - ・講師：株式会社御祓川 代表取締役 森山 奈美 氏②グッドギビングマーク制度説明（オンライン）
 - ・講師：公益財団法人日本非営利組織評価センター
業務執行理事 山田 泰久 氏

（4）めじろんフォーラム2026

「多様な主体との協働推進」をテーマに、県内各地域で活動するNPO団体と社会貢献活動（CSR活動）に取り組む企業や団体等とのパートナーシップ構築を促進することで、地域課題の解決に向けた取組が一層進むことを目的として開催した。

講演及び活動報告を通じて、企業・団体には、地域課題に応えるためのCSRプログラム作成やCSR活動の進め方等について理解を深めてもらった。一方、NPO団体には、今後の活動のあり方や企業・団体との連携や協働、支援の獲得に向けた取組のヒントなどを学ぶ機会を提供できた。

- ・日 時 令和8年3月12日（木） 13：30～
- ・場 所 アイネス 2階 大会議室
- ・参加者 県内NPO 47人、企業・団体 9人、行政など15人 計71人
- ・プログラム
 - ① 企業・団体への感謝状贈呈 10法人
 - ② 助成金及び助成物品の贈呈 寄付金集め支援事業1団体
OA機器助成15団体
 - ③ 講演 演題 「国東市の新たな価値創造に向けて」
～六郷満山・アート・宇宙港をキーワードにしたまちづくり
とNPOの役割り～
講師 国東市長 松井 督治 氏

④ ふるさと創生NPO連携促進事業活動報告 3グループ（協働体）

4 関係機関等との連携

（1）大分市（ライフパル）との連携

大分市のNPO団体数は県全体の約半数を占めていることから、NPO団体への支援を大分市と連携して進めるために定期協議等を行った。

①第1回定期協議「令和7年度の事業について」 6/3（火）

②第9回NPO博への出展 11/16（日）

5 経常的業務

（1）役員会等

① 監事監査 5/9（金）

② 第1回理事会 「令和6年度事業報告及び決算報告、評議員候補者（補欠）の推薦、評議員会招集の決定」 5/13（火）

③ 第14回評議員選定委員会 「評議員の選任」 5/15（木）

④ 評議員会の決議の省略 「令和6年度事業報告及び決算報告、理事の選任、定款の変更、基本財産の処分」（「定款の変更」等の特別決議に必要な定足数を割るおそれがあったため） 6/6（金）

⑤ 理事会の決議の省略 「金融資産運用規程の制定等」 7/25（金）

⑥ 第2回理事会 「経理規程の一部改正、金融資産運用規程の一部改正、情報公開規程の一部改正」 10/28（火）

⑦ 第3回理事会 「令和8年度事業計画、令和8年度収支予算、就業規程の一部改正、令和7年度主要事業進行管理」 3/17（火）

（2）改正公益法人認定法への対応等

職員のコンプライアンス意識を醸成するため、令和8年1月26日（月）にコンプライアンス規程第9条に基づき、コンプライアンス研修を行った。